

# 酪農とちぎ



## 穀雨

はなかがり  
花篝の時期も過ぎ去り、

桜前線は遠く北海道に到達致しました。春は例年より早く訪れましたが、動植物は敏感に対応しています。高収穫を願う春祭りがそれぞれの地域で行われ、県南地域では田植えも始まりました。しかし、昨年同様六月の日照不足が予想され、発育不足による収穫量減が心配されています。

組合においては、恒例の「酪農まつり」を那須塩原市で開催し、近郊へ観光に訪れた消費者に、牛乳と酪農に対する正しい知識を伝えることが出来ました。また、新県南支所が四月より稼動し、十八年度最大の目標である県南地域の事業所統合が達成し、合理化を進めることが出来ました。



# 第六回酪農まつり盛会に開催 (第六回ホルスタイン共進会)

組合の恒例行事「酪農まつり」を四月七日(土)、栃木県酪農試験場(那須塩原市)において開催しました。当日の天候が心配されましたが晴天に恵まれ、早朝より組合員と家族並びに来賓・消費者約三千名が集い、組合員同士の親睦と消費者との交流を深めました。また、牛乳の有害説に対応し、牛乳は優れた食品であることを参加した消費者にアピールを行い、理解を得ました。

酪農まつりの催しとして、ホルスタイン共進会、ふれあい広場では青年部協力による、子牛とのふれあいとスケッチ・搾乳体験等を行い、子供達に人気を博しました。また、関係業者・機関のご協力を頂き開設した乳製品・牛肉料理等の特設売店、女性会のご協力による「やきそば」の販売、地域酪農組合による「おでん」が昼食に振る舞われ、大変好評でした。その他、牛乳普及協会による手作りバター体験・牛乳早飲み競争を行い、生産者と消費者との交流にご協力頂きました。また、那須だいき牛乳によるミルクドリンクの無料配布は、行列ができる賑わいを見せました。大抽選会はスピードくじで行われ、幸運にも

「旅行券」「ニンテンドーDS」などを引き当てた方々は大変嬉しそうでした。

共進会は未経産牛三十三頭、経産牛三十九頭の精鋭牛計七十二頭が集まり、八部門においてハイレベルな改良成果を競いました。審査員は、北海道帯広市の酪農家 吉川要氏、十勝ライプストック)を迎え、公正な審査と講評を頂きました。デリープリンセスは高塩佳子さん(那須塩原市)、大嶋優子さん(宇都宮市)、石 千裕さん(二宮市)の三名で、入賞牛のリボン装着をして頂きました。審査の結果、本年度より導入された各部門統一の最高位賞に大瀧信夫さん(市貝町)、名誉賞は未経産の部で高塩久さん(那須塩原市)、経産の部で大瀧信夫さん(市貝町)、小針勤さん(那須塩原市)が輝きました。また、第九部 地域酪農牛群の優等賞一席は黒磯地域酪農組合でした。アトラクションとして開催されたジュニアショウでは、カ一杯に牛を引く子供達に温かい声援が送られました。最優秀賞には昨年からの連続受賞で佐久間拓人君(那須町)、優秀賞に佐久間美里ちゃん(那須町)、優良賞に大田原篤君(那須塩原市)が受賞されました。



吉川 要 審査員



名誉賞を受賞した皆さんと共に



デリープリンセス

石 千裕さん 高塩 佳子さん 大嶋 優子さん  
(二宮市) (那須塩原市) (宇都宮市)



未経産の部 名誉賞

3部 那須塩原市 高塩 久氏



ハーネスファーム レッドスター ルル

経産の部 名誉賞

6部 市貝町 大瀧 信夫氏



コージー スチュアート ロイ コンビ

8部 那須塩原市 小針 勤氏



コバリ ワンダー デイマージュ



1部 一席 杉本 茂雄氏



2部 一席 室井 良幸氏



4部 一席 清野 剛之氏



5部 一席 相馬 健一氏



7部 一席 菊池 善也氏



部別	賞	出品番号	入賞牛名号	出品者	住所
グラウンド チャンピオン ジュニア チャンピオン インターミディ エイトチャンピオン シニアチャンピ オン	最 高 位 賞	603	コージー スチュアート ロイ コンビ	大瀧 信夫	市 貝 町
	名 誉 賞	302	ハーネスファーム レッドスター ルル	高塩 久	那須塩原市
		603	コージー スチュアート ロイ コンビ	大瀧 信夫	市 貝 町
		803	コバリ ワンダー デイマージュ	小針 勤	那須塩原市
第 1 部	優等賞一席	105	ロベスター ジュラー イト マーベリック	杉本 茂雄	那須塩原市
	優等賞二席	107	タクヨウ マジカル チャンピオン	那須拓陽高校	那須塩原市
	優等賞三席	106	イトリフイック ジョルダ D J グレース	伊藤 高行	那 須 町
第 2 部	優等賞一席	212	オークトウリーズ サリーオーリー ファースト	室井 良幸	那須塩原市
	優等賞二席	213	イトリフイック アストロノミカル シロベ	伊藤 高行	那 須 町
	優等賞三席	211	MS ベルマイナー ダンディー	桧山 嘉男	那須烏山市
第 3 部	優等賞一席	302	ハーネスファーム レッドスター ルル	高塩 久	那須塩原市
	優等賞二席	301	KZMR ベル シャンディー	梶村 健介	市 貝 町
	優等賞三席	307	コバリ モデル メクシルド デボラ	小針 勤	那須塩原市
第 4 部	優等賞一席	402	PF エルトンピース	清野 剛之	那 須 町
	優等賞二席	401	パインツリー ネリージュラー ミックス フタゴ	中山 真介	那須烏山市
	優等賞三席	405	KZMR オリンピア チャンプ ET	梶村 健介	市 貝 町
第 5 部	ベストアダ	401	パインツリー ネリージュラー ミックス フタゴ	中山 真介	那須烏山市
	優等賞一席	506	アローカット ピースター チャンピオン フォー	相馬 健一	那須塩原市
	優等賞二席	502	コージー ロングトリプル チャンピオン	大瀧 信夫	市 貝 町
	優等賞三席	504	BDI ファーム ローンドラ	大島 秀樹	芳 賀 町
	ベストアダ	502	コージー ロングトリプル チャンピオン	大瀧 信夫	市 貝 町
第 6 部	優等賞一席	603	コージー スチュアート ロイ コンビ	大瀧 信夫	市 貝 町
	優等賞二席	605	ウイング マドキャツプ チャンピ	羽石 智昭	茂 木 町
	優等賞三席	601	マウンテンビュー チャンピオン ヤン ジュラー	山本 訓	矢 板 市
	ベストアダ	603	コージー スチュアート ロイ コンビ	大瀧 信夫	市 貝 町
第 7 部	優等賞一席	705	クキイチ エムビー リン ジュラー	菊池 善也	那須烏山市
	優等賞二席	701	グツトラック HS ダーハム クリス	和田 吉幸	那 須 町
	優等賞三席	703	タクヨウ タネリー レデューク	皆川 健介	那須塩原市
	ベストアダ	705	クキイチ エムビー リン ジュラー	菊池 善也	那須烏山市
	ベストプロダクシ	705	クキイチ エムビー リン ジュラー	菊池 善也	那須烏山市
第 8 部	優等賞一席	803	コバリ ワンダー デイマージュ	小針 勤	那須塩原市
	優等賞二席	804	215 タカハシ スターダム	鷹簀 稔	日 光 市
	優等賞三席	805	スマ スウィート ジョーダン	清水 時雄	那 須 町
	ベストアダ	804	215 タカハシ スターダム	鷹簀 稔	日 光 市
第 9 部	ベストプロダクシ	803	コバリ ワンダー デイマージュ	小針 勤	那須塩原市
	優等賞一席			黒磯地域	
	優等賞二席			芳賀地域	
優等賞三席			宇河・今市地域		



# 県南支所移転し新設 県南地域の拠点として

昨年十一月より建設を進めていた

「新県南支所」が完成し、三月二十八日竣工式を行い、四月二日真岡工業団地に移転しました。県南地域の施設合理化については合併当初から検討し、地域合理化検討会・建設委員会・理事会等で審議を重ね、昨年七月に移転先を真岡市工業団地に決定し、昨年十一月に地鎮祭を執り行い支所建設を着工し、本年三月に完成となりました。施設は真岡市第五工業団地に位置し、鉄骨平屋建て約六一〇㎡で、充分な駐車スペースと百二十三名の多目的会議室を備えています。



竣工式は真岡市、栃木県畜産振興課、地域酪農組合の正副組合長、青年部・女性会役員の他、施工・関係業者と役職員の約九十名が参席し、地元大前神社加藤宮司のもとに竣工式除幕式・テープカット等のセレモニーを行いました。

ました。

祝賀会では前田組合長より「合併時からの施設合理化計画に沿って、県南地域の統合を建設地・規模・統合時期等を慎重に審議して頂き、十九年度の稼動を目指し進めて参りました。この度皆様のご支援・ご協力により、建築時の各検査も無事終了し、新県南支所が完成の運びとなりました。これにより先の県北地域に次いで県南地域の施設合理化が実現され、十九年度中に、明治飼糧の倉庫が隣接されますので、相乗的に合理化が進むものと期待しております。今後も県南地域の拠点としてさらに機能を高めて参ります。」と挨拶しました。また、来賓の真岡市・栃木県畜産振興課よりそれぞれ祝辞を頂きました。その中で、福田真岡市長は「真岡市は住よさランキングで全国八位の好成績を頂きましたが、ここに酪農とちぎ県南支所を誘地出来たことは誠に喜ばしいことであります。今後も県南地域の拠点として酪農業の発展に貢献して頂きたい。」と述べられました。

# 県南支所・真岡事業所・栃木事業所 それぞれの歴史に幕

県南地区の施設合理化により、

新県南支所が真岡市第五工業団地に移設したことに伴い、県南支所・真岡事業所・栃木事業所で平成十九年四月三日、各所で閉所式が執り行われました。

神事は午前十一時に、それぞれの思いを胸に各会場で閉所式が開式され、玉串奉奠などが地域の代表者らにより行われ、施錠の儀で閉式となり、四十有余年に渡り地域の酪農発展に資してきた歴史に

幕を閉じました。ある参加者は、酪

農を始めた時にはこの事務所があり、今まで当たり前のよう訪れていた。今日で閉所になると感じると、経営が厳しかったときに、職員と遅くまで対応を話し合ったことが思い出され感じるものが多い。JAを始め施設の合理化が組合の存続の術と理解しているが、組合も事務所と同様に遠く(組合離れ)に行かないことを望んでいる。」と話されていました。



# 東西南北

## 那須高原支所

恒例ボウリング大会開催される

那須高原支所活動推進協議会（渡辺信一会長）主催による、第五回支所ボウリング大会が去る二月一四日（水）黒磯ボウル場、サウンドボウルにおいて開催されました。

参加者は昨年よりも三八名増えて一九四名（男性一一名、女性七三）となり、個人競技だけでなく、地域対抗も加えられ白熱したゲームとなりました。



終了後、表彰式・懇親会が渡辺信一会長の挨拶、伊藤謙三副会長の乾杯

に始まり、男女別個人表彰・地域対抗の表彰を行いました。今回はじめた地域対抗の表彰では大変賑わったものとなり、参加者の親睦が深まり、大盛況の中終了となりました。

なお、上位入賞は次の通りでした。

### 《男性の部》

- 優勝 長浜 英一氏
- 準優勝 平山 信幸氏
- 第三位 豊田 勝保氏

### 《女性の部》

- 優勝 石井 悦子さん
- 準優勝 川井せつ子さん
- 第三位 人見 礼子さん

### 《地域の部》

- 優勝 西那須野 支部
- 準優勝 青 木支部
- 第三位 穴 沢支部

## 宇都宮支所

花と緑の祭典「とちぎ花フェスタ」で那須だいき牛乳をPR

花の総合イベントである「とちぎ花フェスタ」が、去る二月十六日から十八日の三日間、高根沢町の町民広場において開催されまし



た。本イベントは、三万人の来場者が集まる県内最大規模の祭典であり、本組合でも塩谷地域酪農組

合・青年部・女性会が中心となり、牛乳普及PRを行いました。開催期間中は、那須だいき牛乳と同牛乳を使用したモーモーパンを販売したほか、「牛乳に相談だ」グッズのプレゼントなどにより、連日大盛況となりました。また、今回の出展では本組合関係者とともに、東京明販株宇都宮支店からも応援を頂くなど、生産者・職員・取引先が一丸となる有意義な出展をすることが出来ました。

最後に、これからも関係者が一致団結し、りんどうの花（那須だいき牛乳パックデザイン）が、県内を中心に広く咲き誇るよう、PRしていきたいと思えます。

## 県南支所

### 県南支所女性会交流会

平成十九年三月一日、宇都宮市のインターパーク+1にて、女性会芳賀支部と河内南部・下都賀支部の交流会が開催され、部員四十五名が参加しボウリング大会が行われました。

大会は、個人戦で二ゲーム行われ、日頃の運動不足解消に、ストレスの発散になどと、上手下手の関係なくゲームを楽しまれたようでした。ゲーム終了後は、メヒコにて食事をしながら歓談し、解散となりました。終始、楽しい時間を過ごし、部員間の交流を図ることができました。



# 部課だより

## 生乳販売課

平成十八年度生乳生産量は前年比  
九九・五％、三月度は九五・四％

三月度の生乳生産量は、一九、〇五九トン（前年比九五・四％）の生乳生産量となりました。

三月度の支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九四・三％、宇都宮支所九七・九％、県南支所九六・二％の実績となりました。（前年比は移動組合員の数量を考慮した比率）

また、平成十八年度累計生乳生産量は、二二二、一四六トン（前年比九九・五％）となりました。支所別の累計生乳生産量をみると、那須高原支所においては二二二、二二九トン（前年比九九・三％）、宇都宮支所三六、〇六六トン（九・四％）、県南支所五二、八四九トン（九九・九％）の実績となり

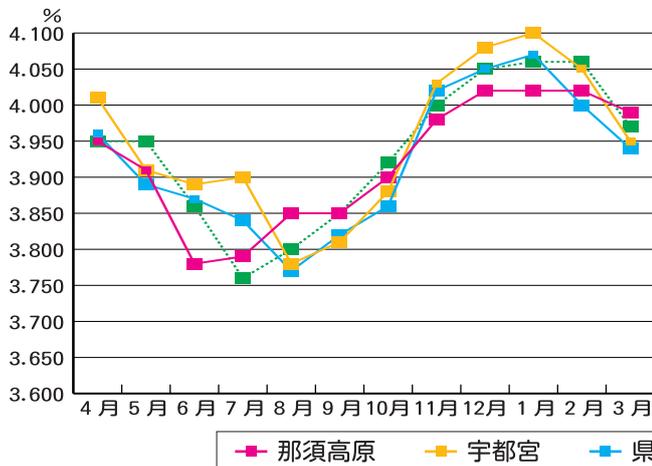
ました。

三月度、関東においては前年比九五・三％で累計では九八・三％となりました。

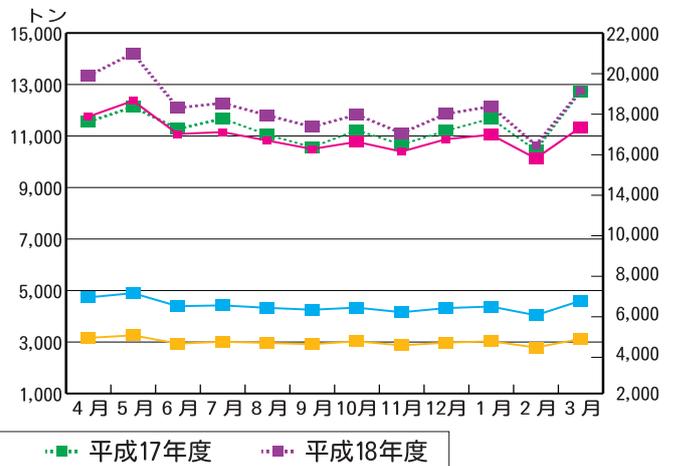
関東の三月の特定乳製品向けについては二二・五％（前年一三・四％）と前年より加工率は減少しましたが、飲用牛乳向けは六・一％の減、また、累計においても四・二％の減と飲用需要の低迷が続いており、三月のはっ酵乳向けについては前年比一〇八・五％（累計一一五・六％）となっております。

全国の生乳生産量においても三月度（前年比）九八・四％、累計実績では九七・五％となりました。組合における三月度乳質成績は、脂肪率が三・九七％、無脂固形分率は八・八一％となりました。細胞数については三月においても前年を下回る一八・六万（前年二〇・六万）の好成績となりました。三月度の乳量及び乳質成績は下記のとおりです。

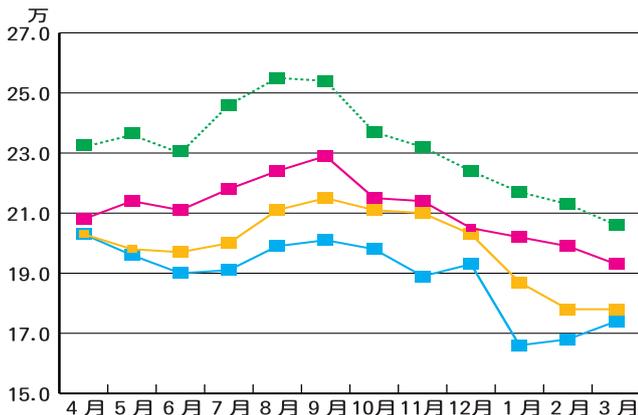
◆ 脂肪率の推移



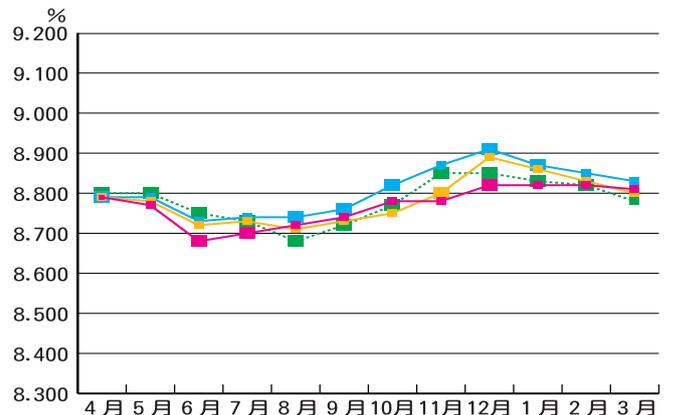
◆ 乳量の推移



◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



## 酪農部

### 関東甲信越酪農発表大会

関東甲信越酪農青年女性会議主催による、第三七回関東甲信越酪農発表大会が去る三月二十七日（火）二十八日（水）千葉県鴨川市「小湊ホテル三日月」において開催されました。



川田 佳男さん

酪農経営発表の部では、埼玉県代表の井上直樹さん（我が家の酪農経営）・群馬県代表の渡辺好平さん（一人で行えるこだわりの酪農を目指して！）・千葉県代表の松本光正さん（地理的要因の克服と、高泌乳牛の少数精鋭化による堅実な酪農経営）らが発表し、栃木県代表であり酪農とちぎ推薦の川田佳男さんは「リバーファーム 仲間と歩む楽農」と題し、「飼養管理の一部を両親が担当しているもの



磯 由 起 子 さん

の、やはり労働力は本人一人で、自給飼料生産は共同作業体系で効率化を目指している。また、カウコンフォート及び乳牛改良（全国ホルスタイン共進会において準名誉賞を受賞）を積極的に行い、これらの取り組みの結果、高所得を確保出来た。」と発表しました。意見・体験発表の部では、東京都代表の小泉勝さん（小さな牧場でのおたくさんの出会い）・茨城県代表の飯田和子さん（いくつものハードルを越えて）・長野県代表の小松牧俊さん（この場所で、これからも…）らが発表し、栃木県代表の磯由起子さん（酪農とちぎ推薦）は「地域とのきずな 子供たちのため、酪農のため」と題し、子供達の安全を守る交通指導員の経験から、挨拶の大切さと子供達からの感謝の想い、地元イベント

開催時に牛乳消費拡大のための地域活動について発表しました。酪農経営発表の部では、四人とも甲乙付けがたい内容でしたが、自給飼料生産が困難な条件下でコスト低減に努めており、遊休地活用として放牧を計画していることや、堆肥ネットワークを作って実施していることが評価され、千葉県酪農青年女性会議の松本さんが農林水産省関東局長賞を受賞しました。意見・体験発表の部は、酪農教育ファームを展開し、小中学生だけでなく知的障害者等の訓練の場所として受け入れをしていることが評価され、小泉さん（東京都代表）が農林水産省関東局長賞を受賞しました。

農政局長賞を受賞したお二人は来る七月十九日（木）二十日（金）の二日間、宮崎県フェニックス・シーガイア・リゾートで開催される第三七回全国酪農青年女性酪農発表大会に関東甲信越酪農青年女性会議の代表として出場されます。つきましては、全国酪農発表大会に、酪農家の皆様の研鑽の場として多くの酪友の参加をお願い致します。

## 4月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~400	401~450	451~500	501~550	551以上
十勝	4月9日	385	472	52	76	169	59	29
釧路	4月18日	257	473	16	66	123	38	14
豊富	4月12日	265	468	28	50	121	54	12
根室	4月19日	423	466	55	128	155	44	41
北見	4月25日							
十勝	4月24日							
合計		1,330	469	151	320	568	195	96
前月		2,399	472	260	551	920	521	147
前年同月		2,382	464	419	531	723	559	150

上記金額にはE T妊牛価格を含みます。

## 家畜市場成績

平成19年4月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 15日	ホルス雄	76	-	68,250	3,360	45,263
	F1雄	63	-	197,400	70,350	143,417
	F1雌	63	-	137,650	63,000	94,700
館林 17日	ホルス雄	9	83	75,000	44,000	56,778
	F1雄	22	92	232,000	134,000	184,000
	F1雌	23	85	185,000	89,000	133,652



# 理事会だより

## 三月度理事会

### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 三分生産者支払乳価について
- (三) (財)栃木県農業振興公社の理事候補者推薦について
- (四) 人事について
- (五) 乳牛飼養動態調査結果について
- 協議事項
  - (一) 二月度事業実績について
  - (二) 平成十九年度栃木県統一支払乳価について
  - (三) 定款・規約の一部改正について
  - (四) 役員及び組合員慶弔規程の一部改正について
  - (五) 職員給与規程の一部改正について
  - (六) 平成十九年度事業運営に関する理事会付議事項について
    - 借入金の最高限度額について
    - 当座借越限度額設定について
    - 一組合員に対する貸付金の最高限度額及び貸付利率の最高限度について
  - (七) 平成十九年度事業計画及び収支計画(案)について

- (八) 第六回総代会の開催について
- (九) 地域説明会の実施について
- (十) 総会制について

## お知らせ

### 職員人事

- 定年退職(三月三十一日)
  - 購買部長 町田 隆治
  - ふれあい牧場長 土屋 光明
- 退職(三月三十一日)
  - 真岡事業所 川俣 薫
- 採用
  - 診療課(獣医) 小口 夏代
  - 那須高原CS 平山 清貴
  - 宇都宮支所購買課 星野 健悟
  - 宇都宮支所指導課 薄井 梢
  - 県南支所購買課 青 達彦

## 女性会活動報告

今回は塩谷支部の活動を報告致します。

私たち塩谷支部は、自らが生産する牛乳の消費拡大運動と、先産酪農家の視察・研修会など積極的に行い、技術的な向上を目指す活動を進めています。

酪農を取り巻く環境は、消費の低迷が要因となり様々な部分に波及し厳しい状況にあります。私たちが自信を持って生産した牛乳が、間違った健康説などにより、さらに牛乳離れが進むことは許せないことです。塩谷支部としても、正しい牛乳の知識を消費者へ伝えるために、



「しおや地産地消まつり」に参加し、試験販売・牛乳の正しい知識を広め

るためにパンフレットの配布などを行いました。また、この活動で地元の生産物に関心のある消費者が大勢いることに驚き、安全で安心できる牛乳を生産する重要性をあらためて感じました。さらに、技術面の向上と支部員の連帯強化を目指し、昨年度は齊藤技術顧問を講師に迎え「乳牛の移行期管理」と題し研修会を行い、移行期管理の重要性を学び、日頃疑問をもっていた部分にコメントを頂きました。また、牧場研修を計画し、近隣の黒内牧場のご協力を頂き、搾乳ロボット・自動糞尿処理施設を視察研修し、近代的な酪農技術を学びました。また、親睦会として劇団四季の「ライオンキング」を鑑賞し、参加者は忙しい日々にかの間の休息と、相互の理解を深めました。

これからも支部の活動を通し、正しい牛乳の知識を広め、消費の拡大を目指し活動して参ります。今後とも厳しい状況が予想されますが、みなさまとともに協力し合い乗り越えて行きたいと思えます。